

途上国医療支援へ決意

名古屋 連携ネット設立記念式

ミャンマーなど途上国への医療支援に取り組むNPO法人「国際医療連携ネットワーク」(事務局・名古屋)の設立記念式典が二十八日、名古屋市中村区の名古屋マリオットアソシアホテルであった。

同法人は、藤田保健衛生大の神野哲夫名誉教授を理事長に、医師や弁護士らで組織し、会員は六百人。今日五日に認可を受けた。まずはミャンマーへの医療支援に取り組む

み、将来的には、ほかのアジア諸国や中近東にも支援を広げる考え。
ミャンマーへの具体的な支援策としては、画像診断システムを使った遠隔地診療、看護士や薬剤師の育成機関の設立支援、コンピューター断層撮影(CT)や磁気共鳴画像装置(MRI)などの高額医療機器の提供などを計画している。
式典で、神野理事長は「弱者への優しい視線こそが国家の根幹だ」といふ思いで支援していきたい」と決意を語った。(河郷丈史)



式典であいさつする神野理事長＝名古屋市中村区で